



一橋大学空手道場

「再進化する建築」
一橋大学にある空手道場。敷地はキャンパス内で大きな緑が広がっており、本計画で求められたことは、周囲の豊かな緑を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。

大きな庇の活用を最大限に活用し、周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。

庇と換気、手置きする間接照明を最大限に活用し、周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。

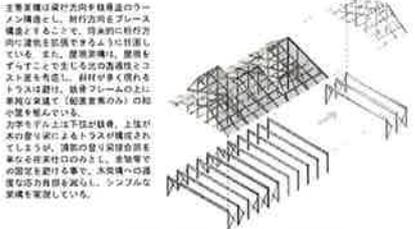
環境に求められる換気、通気量が増える環境という状況下で手置きする条件は限られている。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。周囲の環境を最大限に活用し、周囲の環境に溶け込むこと。



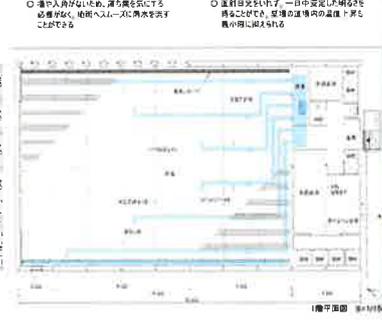
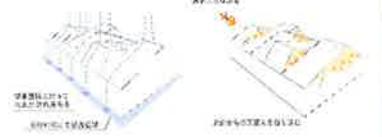
低電力な空調換気計画

周辺環境への低電力計画、夏でも大きく窓を開け換気ができる環境において、最小限の電力で効果的な空調換気を行う計画とした。夏場は、庇の開口部に設けたガラリにより風を取り込み、送風機で床下へ送り込む。床下は、一年を通じて寒暖化が少ないため、空気は静かである。送風の床面から吹き出される。さらに、床下の開口部として、水の自然対流により空気を冷却する効果も期待できる。また、床下から吹き出された空気は、部分的に必要箇所に送風機により送風機に送られるガラリから吹き出される。送風機には換気も必要である。換気も必要である。換気も必要である。

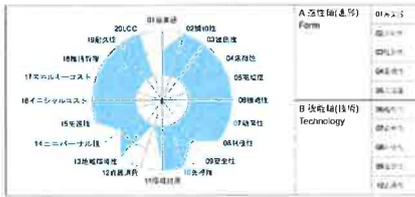
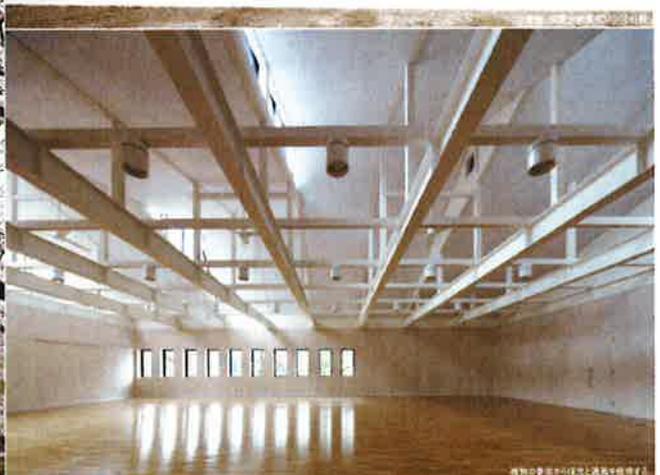
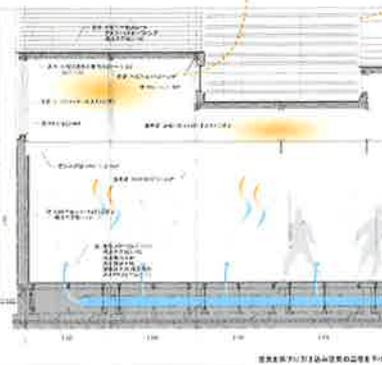
鉄骨フレームと小屋組による換気可能な構造計画



切妻分節屋根



低電力な空調換気計画



項目	内容	評価	項目	内容	評価
A 気性 (Env.) Form	1 社会環境 (Environment)	11 環境負荷	1 社会環境 (Environment)	11 環境負荷	2
	2 社会環境 (Environment)	12 生活環境	2 社会環境 (Environment)	12 生活環境	2
	3 社会環境 (Environment)	13 健康環境	3 社会環境 (Environment)	13 健康環境	2
	4 社会環境 (Environment)	14 コミュニティ	4 社会環境 (Environment)	14 コミュニティ	1
B 技術性 (Tech) Technology	1 社会環境 (Environment)	15 社会環境	1 社会環境 (Environment)	15 社会環境	2
	2 社会環境 (Environment)	16 システムコスト	2 社会環境 (Environment)	16 システムコスト	2
	3 社会環境 (Environment)	17 ランニングコスト	3 社会環境 (Environment)	17 ランニングコスト	2
	4 社会環境 (Environment)	18 環境管理	4 社会環境 (Environment)	18 環境管理	2
C 経済性 (Eco) Life Cycle Cost	1 社会環境 (Environment)	19 環境管理	1 社会環境 (Environment)	19 環境管理	2
	2 社会環境 (Environment)	20 LCC	2 社会環境 (Environment)	20 LCC	2